

2019—2020年度 Vol. 12
ガバナー月信

6 月号



Rotary International District 2570
GOVERNOR's MONTHLY LETTER
Vol.12 June 2020



ロータリー親睦活動月間

クラブ・地区・国境を越えた交流を通して親睦を

ロータリーとして何ができるか？

本ロータリー年度の後半は、新型コロナウイルス騒動で終了しそうだ。

年度(2020年6月末迄)は間違いなく終了するが、新型コロナウイルス騒動はそれまであと1月半(この月信がお手元に届く頃には残り1カ月)、コロナ騒動は終了出来るだろうか？

5月13日、政府は緊急事態宣言を39県に亘って解除した。メディアや一般の方からはこの事に対して「人の移動再開に因る『緩み』や『第2波』」を警戒する声相次いだ。

日頃、私は大きな施策が出た場合に、なるべく批判は避け、前向きに対処したいと考えている。事実、先月号の月信で私は「批判は簡単だが、事態を前へ進めることは難しい」と言っている。しかし今回の緊急事態宣言の解除に関して私は、『緩み』そしてその後に来る『第2波』に懸念をしている。緩みや第2波は、緊急事態宣言対象から外れる39県だけではなく、未だ緊急事態宣言対象の我が県へも、遠慮なく入り込んでくるからだ。

埼玉県は、前述の如く未だ緊急事態宣言下である。この状況の中、緩みなく感染防止対策を行うと共に、(この状況が永く続く事も視野に入れて)生活に工夫を加え永い期間で感染防止対策を続けられる様にならなければならない。この対処の具体的な案が「新しい生活様式」であり、それに業種別や施設ごとに詳細を加えた埼玉版が「彩の国 新しい生活様式」として示された。これは最低限のルールだから、これに各自が自分なりの工夫を加えて『第2波』が絶対来ないようにしたい。そうでないと、今迄の接触回避、即ち外出自粛が水泡に帰することになる。そうすると、ロータリーどころではなくなる。

RI理事会は、現況下でのロータリー活動(特に会合)について、2020年12月末までは。クラブ例会や、地域セミナー等はオンラインでの開催を強く要請しており、何よりも増して健康と安全を最優先し、国や地元指導者の要請・推奨に従うように文章で伝えてきた。(詳細については過日各クラブへ送信済み)

次に例会出席の扱いについて触れる。本件について前段で触れている通り各自の健康確保の観点から、出席に対する考え方は異なるが、地区としては、本年度各クラブからの報告は記録として留めるものの、評価の対象とはしない事でご理解頂きたい。

新型コロナウイルス関連でいささか紙面を割き過ぎた感があるが、それは次の理由による。

1. ロータリーは特に「疾病予防と治療」に注力しているから。(人道的奉仕への補助金付与額は、「疾病予防と治療」が6つの分野全体の4割を占めている。)
2. 奉仕団体を標榜している団体は、今こそ世間の役に立つべきであると考えているから。

ロータリーは任意団体であるが奉仕団体であると我々は自負している。

世間には公益法人が多く有り、世間の為の事業を行っている(と公言しているし、)故に税制等で優遇されている。ならば今こそ

埼玉新聞

2020年(令和2年)5月15日(金曜日)

フェイスシールドなど寄贈 国際RCの2地区、県に



県に1千万円とフェイスシールドを寄贈した国際ロータリー第2570地区、第2770地区の会員と大野元裕知事(右から3人目) - 14日午前、県庁

県内の国際ロータリー第2570地区、第2770地区の会員らは14日、県庁を訪れ、大野元裕知事に県新型コロナウイルス対策基金への寄付金として1千万円と、医療従事者、感染者受け入れ施設向けに、飛まつ感染を防護する「フェイスシールド」5万セットを寄贈した。

寄付金は2地区の会員から寄せられた厚意や、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった、地区大会開催関連費用など。フェイスシールドは「ロータリー財団」の補助などを得て、調達したという。

第2570地区からは鈴木秀憲、ガバナ、高柳育行、副ガバナ、藤倉武幹、第2770地区からは小林操、ガバナを述べた。

(新井護)

地域の新しい活性化の リーダーとして活躍されたい

奉仕団体や公益法人は世間の役に立つことを率先するべきと考える。

上記の観点から、5月14日埼玉県へコロナ感染防止対策に金品を贈呈させて頂いた。埼玉県にある2地区が別々の行動では世間から理解されにくいので、2770地区へも呼びかけ、賛意を得て2地区合同で行った。メディアへの受けが良かったのか、地元紙埼玉新聞を始め、購読数の多い読売新聞でも大きく取り扱ってくれたし、テレビ埼玉でも即日報道された。

今のコロナ騒動の陰で、色々な問題が露呈してきた。

1. コロナ対策問題と経済活動問題とのバランス。当然、人命優先の為のコロナ対策が最重要で経済対策はその次だ。しかし、直接コロナ禍の被害に遭っていない場合には「何処まで経済活動を犠牲に出来るか?」という事も大きな関心事だ。であるならコロナ対策と経済活動の両立は出来ないか?

経済は本来良い意味での競争であるが、競争ではどうしても弱者が切り捨てられてしまい、両立は難しい。地域では競争ではなく、皆で共生を目指す事は出来ないか? ロータリアンがその原動力になれないだろうか? 地域でロータリアンが話し合い、コロナ対策と経済活動の両立での指導者たる事を願う。

2. コロナ対策は世界中の問題で、世界が一つになって協力すべきである。しかし、この時期に領土や覇権拡大を狙っている動きも感ぜられる。この様な時にこそ「世界をつなぐロータリー」の出番であると考え。

話は古くなるが、第二次世界大戦終了後の世界秩序を鑑み、連合側26ヶ国は早くも1941年に米国とイギリスが掲げた「世界のよりよい未来に対する希望の礎」となる共通原則の理想への支持を誓い、翌1942年連合宣言を発している。以来1945年のサンフランシスコ会議に至る迄会議の中心として、国際ロータリー元会長等を始めとしてロータリー代表者が活躍している。(詳細は、マイロータリーの「国連の誕生とロータリー」を参照されたい。)であるから、現状に囚われず理想の世界構築のために、世界120万人超えの会員を代表して国際ロータリー役員の皆様活躍を期待する

治療薬開発の話は出てきたもののワクチンの開発されていない現状では、コロナ禍との戦い(疾病予防と経済再生の両立)は、そう簡単には終了出来ないであろう。だからこそ国や県は「新しい生活様式」なるものを発したのだろう。

今こそロータリアンが、「新しい生活様式」を中心とした地域の新しい活性化のリーダーとして活躍されたい。

そして、世界が覇権主義やその為の全体主義に侵される事無く、民主主義中心であり続けられる様に、国際ロータリー役員の皆様方には、国連誕生時のロータリーリーダーの方々並のご活躍を期待する。



さて今月は親睦活動月間だ

ロータリーの5つの中核的価値観を持ち出すまでもなく、親睦が大切な事は皆さんご自身が良く知っている。国際組織のロータリーであるから、親睦はクラブや地区内に止まらず世界の仲間と共有する事が出来る。その機会の一つに国際大会があるが、本年度は大会がない。来年の国際大会に期待しよう。過去の国際大会で、私が興味を引かれたのは、クラシックカークラブや軽飛行機クラブ等であった。趣味の仲間だけではない。

国際大会で友人になり海外での奉仕活動のきっかけになって居る場合もある。単なる趣味の友人も悪くはないが、苦勞を共にした友人との関係は格別なものである

親睦は個人間だけではない。クラブ同士の親睦もある。国内に限らず海外のクラブとの友好も大きな親睦だ。今は行き会う事は出来ないが、ホームページから友好関係は直ぐに出来る。移動できない今こそ、ホームページから尋ねる良い機会かもしれない。

ガバナーノミニー紹介

ガバナーノミニー
水村 雅啓 入間



■職業等の経歴についてお聞かせください

繊維品販売、不動産管理そして文化施設運営が生業です。

我が家の家業は織物業でした。大正時代の創業です。私は、タオル製品の製造、自動車シートの縫製などを手掛けていました。現在、その工場や倉庫を賃貸するなどの不動産管理業とタオル製品の販売を行っています。また、いろいろな関りから文化事業を行うことがライフワークとなり、15年ほど前にNPO法人を設立し文化施設の管理とイベント運営を行っています。入間市の施設である「文化創造アトリエアミーゴ」で年間70本に及ぶ音楽、アート、演劇、古典芸能の公演やワークショップなどの事業を行っています。NPO活動ということで、「文化芸術で喜びと希望を感じるまちづくり」を運営理念に掲げて、文化芸術の振興と地域の活性化を目指して活動しています。

■どんな趣味をお持ちですか

史蹟古美術を訪ねる旅や美術館巡りです。学生時代、京都奈良の寺院や仏像を研究するサークルに入っていて、今でも毎年そのころの仲間と全国の史蹟巡りを楽しんでいます。今年の旅行では、大修理の終わった奈良

の薬師寺東塔を見学するはずでしたが、コロナウイルスの影響で叶いませんでした。また、法隆寺の百済観音像が東京国立博物館で公開されるのを楽しみにしていましたが、やはりダメでしたね。

山登りも好きでした！ 30歳位から始め、北アルプスや八ヶ岳と毎年登っていましたが、13年前に南アルプスの北岳で遭難し、左足首を開放骨折して県警のヘリコプターで救助されるという大けがを負ってしまいました。山小屋のご主人、学生の山岳医療ボランティアの皆さん、病院の方々など多くの方に助けられ、お陰様で今、無事に歩くことができます。いくつもの奇跡があって生き長らえたと思っています。丁度クラブ会長を終えた2か月後のことでした。ロータリーも長期欠席しましたが、よく辞めなかったと思います。

■ロータリー歴についてお伺いします

1993年(平成5年)41歳の時、入間ロータリークラブに入会しました。勧誘されて、あまり深く考えずに入ってしまったと思います。もっと思慮すればよかったでしょうか。

2006-2007年(平成18-19年)鈴木勲二PGの時にクラブ会長。先輩が多いクラブでしたので、会長とは名ばかりで、教えを請いながら、お叱りを受けながら、必死に過ごした一年でした。お陰で素晴らしい経験ができました。

2009-2010年(平成21-22年)地区会員増強委員。会長を終わって、2年後、地区に出ましたが、ここでも真面目な委員ではなかったのですが、会員増強の副委員長、委員長を経験させていただき、前島年度、細井年度の二年間、クラブ奉仕部門委員長を務めました。前島年度には22年振りに会員数が増加に転じ、とても嬉しかったです。また、鈴木秀憲年度、相原茂吉年度と地区社会奉仕委員長を

務めます。地区では、多くのメンバーに助けられ活動も楽しく、また勉強になりました。

■ガバナーノミニーをお引き受けされた

経緯をお聞かせください

数年前から入間RCにガバナーを出してもらえないかとの指名委員会から打診がありました。今年になって、坂本指名委員長が入間クラブの例会にお越しになり、ノミニーの決まっていなかった今の地区の現状を話されました。これを受けてクラブでは私を推薦するとの話になりました。私としては、他にできる方がいるのではと思いましたが、クラブの会長、幹事はじめ鈴木秀憲ガバナーから何度も足を運んで依頼され、覚悟を決めた次第です。コロナウイルス感染症の騒ぎの中で、まだ実感がわかないのが現状です。これから、クラブの仲間や地区の諸先輩と一緒に考えをめぐらしていきたいと思っています。

■今後の2570地区について一言お願いします

新型コロナウイルス感染症の影響で、クラブの活動が休止する状態が続いています。会員のモチベーションが低下しています。かつてない経験を私たちはしていくのだろうと感じています。感染症の影響で経済活動を制限され、雇用・所得が悪化し、終息後も経済低迷が長期化するようなことになれば、職業を活動基盤とする我々の活動も危ういものになってしまいます。今までとは全く違ったロータリー運営が迫られるのではないかと思います。すべての分野で見直しが必要になるのではないかと。将来を見据えた戦略計画を立て、クラブ運営、地区運営を行っていかねばならないかと思っています。相原エレクトと協力し二人三脚で継続的な計画を進めたいと思います。是非とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

国際ロータリー
第2570地区
各クラブ会長 様

2022-23年度ガバナー候補者(ガバナーノミニー・デジグネート)推薦依頼

地区は国際ロータリー細則12.010により2022-23年度ガバナー候補者(ガバナーノミニー・デジグネート)を本年6月30日までに選出なくてはなりません。

本依頼は既に本年4月8日に各クラブ宛に送信済みですが、再度2022-23年度ガバナー候補者(ガバナーノミニー・デジグネート)の推薦をする場合には、本年6月8日迄に地区指名委員会(委員長坂本元彦)地区事務所に提出頂きたくご連絡致します。

COVID-19の影響下の青少年交換プログラム

緊急帰国

青少年奉仕委員会・青少年交換小委員会委員

高橋 貴子

行田
さくら

耳を疑ったロンバルディアの閉鎖

2020年3月の青少年交換は怒涛の日々でした。全世界の誰もが想像もつかなかったパンデミックです。2570地区と派遣生の交換をしているイタリア・スペイン・フランスの新型コロナウイルス感染拡大は早期に始まり、行動規制もとても急速で厳しい状況でした。武漢の次に感染拡大をしたイタリア・ロンバルディア州閉鎖のニュースを最初に聞いた時には現実の事なのかと耳を疑いました。当地区はこのロンバルディア州との交換でした。



埼玉県親善大使としての委嘱状授与：2019年6月第49期派遣・来日学生と埼玉県知事公式訪問

3名の欧州からの脱出

ロンバルディア州閉鎖をきっかけに、日本国内にいる全てのインバウンド学生への帰国指示・海外にいるアウトバウンドの帰国準備・スポンサークラブとホストクラブとの連絡・親権者との相談・学校への諸連絡等、全てを同時に進めなければならない事態でした。当地区の交換学生の内2名はアメリカとの交換でしたが感染拡大の時期がずれていたため、まずは欧州の交換学生達の帰国手配でした。既にロンバルディア州は閉鎖されていましたので、当地区は委員会を開く間もなく鈴木ガバナーより「全インバウンド・アウトバウンドの緊急帰国要請」が出されました。その日からの2週間は正に脱出劇でした。時間毎に状況が変わり、一夜明けると突然の緊急事態宣言の発令・実施という展開の速さでした。充実していた留学生活にピリオドを打たざるをえなく、現地で出来た友人達やお世話になった方々にお別れを交わす時間もありませんでした。

利他的行動の集結

夢中で進めた交換学生たちの帰国にはそれぞれに様々な苦労がありました。約2週間で全員無事母国に帰国出来た時には放心状態でした。当地区の帰国の完了がこの短期間で出来できた理由は3つあります。ホストクラブ・スポンサークラブ・ご両親がとても協力的だった事。そして派遣生本人がロータリークラブに感謝し素直に動いてくれた事。彼らが留学先の現地の言語でホストファミリーやホストクラブの方々と相談し、落ち着いて緊急帰国の対処を立派に行った事。これらの全てが揃いスムーズに進められたのは直接ガバナーとやり取り出来たことが大きな要因であったと思います。

終わりに

私自身、イタリア・スペイン・フランス・アメリカを舞台にした目まぐるしい映画の中にいるような数週間でした。映画のように「The END」、

もしくはもう一つの世界で起きている「パラレルワールド」であれば良かったのですが、世界中が新型コロナウイルス感染症に怯える現実の中にいます。ポリオは根絶まであと少し、という所まで来たというのに。これからも私たちは手と手を繋いで大きな課題に取り組む必要があるようです。ロータリーで育った頼もしい青少年達も今後力を貸してくれることでしょう。



委嘱状授与式終了後

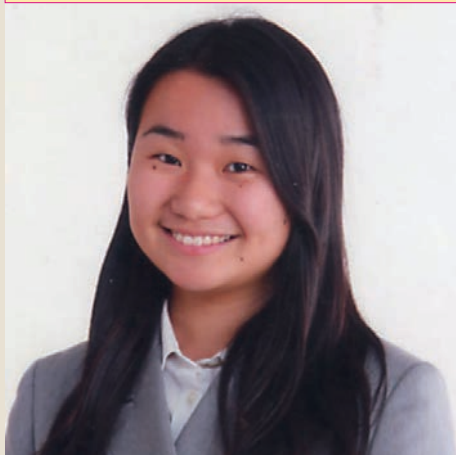
第49期派遣生

スポンサークラブ

森田 梨加

志木

(慶應義塾女子高等学校)



この留学を通してフランスの文化や自分自身を再認識出来ました。まず文化について、フランスの芸術環境・市場が日本よりも進んでいると強く感じます。例えば芸術が一つの公的な職業として認められているので社会保障等が受けられる、芸術を楽しむ人が多く美術市場が大きいので無名の芸術家でも一定の収入が得られるなどです。日本では芸術家

留学の成果



南フランスのバストリップ

は「自由業」とされ、あくまで個人事業なので社会保険が受けられず、美術市場も小さい為資金のない芸術家は活動が難しく、また日本の学校では美術の授業時間は年々減少傾向です。フランスでは授業の一環として美術館やショーを鑑賞し、子供達も自信をもって真剣に美術を学んでいる姿が印象的でした。

自分自身についてフランスに行く前は、学校の課題をこなして友人と会う生活を繰り返す中で、自分自身が何なのか、何が好きなのか、分からなくなる事がありました。しかしフランスでの生活が始まり今までの人間関係と

離れた事で、周りにあるものは全て一新されました。コミュニケーションも使ったことのない言語でとる為、自然と様々な物事をじっくりと考える時間が増えました。哲学的に物事を見つめ直し自分が好きな事を見つけ出した事で、何気ない行動や生活が楽しくなりました。

これらの事や、実際の文化に触れながらフランス語を学んだ事はとても貴重な経験でした。沢山の人のサポートに感謝しながら、様々な視点で物事を見る事が出来るように幅広く世界を学び、自分なりに将来へ向けて生かしていきたいと思えます。

第49期派遣生

スポンサークラブ

市村 真大

所沢東

(埼玉県立所沢高等学校)



まず、交換留学プロジェクトを支えてくれたロータリークラブ関係者の皆様、本当にありがとうございました。高校生という若い頃から、海外で生活を送るという貴重な経験を積むことが出来たのはこの交換留学プロジェクトがあったからです。そして、海外へ飛び立つまでの1年間のオリエンテーション

交換留学生としての生活を通して

は私にとってかけがえのないものです。インバウンドの留学生との交流、日本の素晴らしさを学ぶ機会、人前で話す技術の向上、そのどれもが海外で生活する上での糧になりました。このオリエンテーションをしていく中で自分の良さ、自分に足りていないこと、異文化を学ぶことの楽しさなど沢山の事を学ばせて頂きました。オリエンテーションをサポートして下さったローテックスの方々にも感謝しています。

私は8ヶ月間、アメリカという日本と全く異なる土地で生活を送りました。沢山の人の出会い、こんなにも楽しそうに生きる人々がいるんだと驚く毎日でした。日本では気付くことが出来なかったことに気づき、沢山

のことを考えました。自分の言いたいことが伝わらなかったり、何を言っているのか分からず人が離れていってしまうことも多くありました。そんな経験が私を成長させ、一歩ずつ進んでいくのを感じました。そうした経験を多く積むことは、この交換留学をした一つの意義だと私は思います。私を支えてくれた全ての人に感謝をします。そして全ての経験を糧にして、これから歩んでいきます。



アメリカ、ツルサでの研修会

帰国報告

イタリア留学と新型コロナウイルスの拡大について

私は、9月1日から川本ロータリー様ご支援の下イタリアの北部プレシアに派遣させていただき約7ヶ月現地の学校やロータリークラブの方々を支えられ楽しく、そしていろいろなことを体験させていただきました。

2月下旬からコロナウイルスの影響で学校が閉鎖され自宅自粛が始まりました。皆ただの風邪だと考えていましたが、ことが大きくなるにつれ緊張感や毎日増える感染者の数、亡くなる方々の数に怯えていました。今回のコロナウイルスのはじめのヨーロッパ感染国

がイタリアでした。感染した地域がロンバルディア州のそれも住んでいた隣の市ということもあり、ホストファミリーは私を感染させないよう外に出ないようにまた、ビタミンをよくとって免疫や食事にも心がけるように気を使ってくれました。

自粛期間中はホストファミリーと料理を作ったり、映画をイタリアのサブタイトルで見たりしました。毎日流れる医療機関の映像は目を抑えたいくらいの衝撃を与えるものでした。

毎日家の周りや道などは警察が巡回してい

て外出し捕まると70ユーロの罰金がありました。そして、イタリアに派遣された9人の日本人の友人達もだんだんに帰国すると話し始め私も帰国しなければいけないのかと



帰国報告(スペイン)

マドリード空港で出迎えてくださった、明るくお話し好きな第1ホストファミリーと共に、空港から自宅のあるログローニョまで観光地を回りながら一週間ほど旅行をし、楽しく留学生生活をスタートすることが出来ました。高校では、哲学、経済学、文学(神話)、国語、数学、情報、歴史、体育を選択し、放課後はスペイン語教室や料理教室、近所の小学校での英語の授業の手伝いなどをしました。

私の地区にはアメリカ、台湾、フィリピンからの留学生が来ていて、留学生同士はとても仲が良く週末には買い物に出かけたりしました。

2軒のホストファミリーは、どちらも温かい家庭で、本当の娘のように私に接してくださいました。週末のお昼は、日本の味を知ってもらうため、日本から持って行った食材で日本料理を作りました。春巻きが特に人気でした。

スペイン語も徐々に上達し、スペインでの生活が充実してきた矢先に、新型コロナウイルス感染が拡大し、スペインでも学校休校、外出制限になりました。ホストファミリーもロータリーのカウンセラーも大変心配してくださいましたが、日に日に状況が悪くなり、早期帰国することになりました。現在も感染者や死者が多く出ている報道を見ると、スペイン



第49期派遣生

松葉 明里

(大妻嵐山中学校・高等学校)

スポンサークラブ

川本



色々考えるようになりました。イタリアにある日本大使館のホームページには週末明けから飛行機の数を減便することもあり急遽飛行機を取り帰国しました。

今回の留学に行かせていただき将来の夢を明確にすることができました。本来よりも短い留学生活でしたが、ケアなどありがとうございました。

第49期派遣生

古川 ココ

(大妻嵐山中学校・高等学校)

スポンサークラブ

熊谷西



の家族が心配で仕方がないです。途中帰国となったことは残念ですが、スペインでの貴重な体験を将来に生かしていこうと思います。

最後になりましたが、青少年交換プログラムに参加させていただき、本当にありがとうございました。

第50期派遣候補生

スポンサークラブ

望月 はる香

(大妻嵐山中学校・高等学校)

小川



この度は渋沢栄一さんについて学ばせていただき大変勉強になりました。ありがとうございます。渋沢さんは徳川慶喜に仕え、当時は幕府側であったのにも関わらず時代の流れを臨機応変に汲みとり大蔵省の一員となりました。また、パリの万国博覧会に訪れ欧州の文化や産業にインスピレーションを受けて、日本に帰ってきた時に明治政府と新しい国づくりを築く上でその経験を活かされたと聞いて、これから留学へ行く私たちと通ずる点があると感じました。私も派遣国で様々なカルチャーショックを受け、日本に帰国した時に多様な場面でその経験が発揮できるよう努力したいと考えています。渋沢さんは分野を問わず、現在のみずほ銀行や帝国ホテル、富岡製糸工場、日本女子大学の創設をはじめとする約500社の設立に携わっていたということに、大変驚きました。まさに現代資本主義の礎を築いた方なのだと強く感じ、国民が必要としているものを第一に考え、社名などに自身の名前を使わない謙虚さや公共性を重じているところにも渋沢栄一さんが偉大とされる人柄が表れていると思いました。また渋沢栄一さんの従兄弟にあたる尾高惇忠さんのお話では渋沢一家で産業を支えていることを教えていただき、人々が支え合っ



渋沢栄一翁立像の前で。赤城山を望む

維持できているのだと実感しました。

最初に訪れた渋沢栄一記念館の方のお話で、渋沢さんは女性に教育を受けられる環境をつくるという思いで日本女子大学を創設したと聞き、江戸時代末期から、すでにそのような思想が生まれていたことに感動しました。しかし私は日本の政界などを見ると未だに男社会の名残があると感じます。100年前と変わっていない現在を渋沢さんはどのように思われるのでしょうか。一度生まれてしまった被差別部落などの思想は後世にも少なからず残ってしまう現状があります。私たちはこのような問題に広い視野からの意見を反映させることが必要です。

豆まきでは、瀧宮神社にお世話になり貴重な体験をさせていただきました。神社の本堂に入ることは中々体験できないことなので、身の引き締まる思いとともにとても神聖な気分になりました。インバウンドの皆と一緒に日本の伝統的な行事を行うことができ、興味深かったです。

オリエンテーションの回数も残り少なくなり、数を重ねる度にたくさん学ばせていただいています。ロータリアンの皆様並びにROTEXの先輩方のご支援に感謝を忘れず残りわずかなオリエンテーションも誠心誠意取り組んでまいります。これからもご指導よろしくお願い致します。

第50期派遣候補生
弓田 詩愛里
(武蔵越生高等学校)

スポンサークラブ
越生毛呂



2月3日節分の日に、オリエンテーションとして渋沢栄一翁生誕の地見学と節分祭に参加しました。場所は深谷でした、私は深谷に行ったことがなくて電車で行けるか心配でしたが無事に着けて安心しました。

まず初めに、渋沢栄一記念館に行きました。記念館の中は渋沢栄一に関する資料などがたくさんありました。渋沢栄一さんは、とても長生きで91歳まで日本の経済に力を入れていて凄いなと思いました。

渋沢栄一さんは「何をした人?」と質問された時になんて答えようか悩みました。渋沢栄一さんは、色々なことをしていますが特に有名なのは500個の会社を設立した事です。私はそれを聞いた時にびっくりしました、また学校を作って校長になったり、bankを銀行と訳したりしていてとても色々なことをしている偉大な人なんだなと思い、同じ埼玉県に生まれてとても嬉しくなりました。私が記念館で1番印象に残ってるのは、女の子のお人形でした。その人形は海外のお人形と日本のお人形を交換して異文化交流する為にあったものなんです、その人形がメリーちゃんと言う人形で隣に立ってみるとずっと見られてる感じがしてとても怖かったです。

次に行ったところは、中の家でした。中の家では、渋沢栄一さんの生涯や今年の夏に

やる大河ドラマのお話を聞きました、あの吉沢亮くんが中の家に来てドラマの撮影をする聞いてびっくりしました。中の家の庭にはどんぐりの木があって、inの子にトトロだよと教えてあげてどんぐりを拾いました。また、中の家には渋沢平九郎さんのお墓がありました、この人は歴史人物イケメンランキング第2位でお墓を見られてとても嬉しかったです。

次に行ったのは尾高惇忠生家でした。尾高惇忠さんは、渋沢栄一さんの従兄弟で渋沢栄一さんに学問を教えた人でした。渋沢栄一さんは多くの会社を作ったりしてとても頭のいい人だと思っていて、その渋沢栄一さんの学問を教えた尾高惇忠さんはもっと頭のいい人なんだなと思いました。尾高惇忠生家では、大きな雛人形が飾られていました。私の家にもお雛様はあるのですが、三人官女しかない物しか見たこと無かったのですが、五人囃子がいる雛人形は初めて見ました。すごく綺麗で素敵でした。

次に行ったのは誠之堂・清風亭でした。誠之堂は、渋沢栄一さんの喜寿のお祝いで建てられたものです、イメージは西洋風の田舎

屋です。中にはスタンドグラスがあってその絵には渋沢栄一さんのお祝いをしている所を描かれてあってとても素晴らしいものでした。清風亭は、佐々木勇之助さんの古希のお祝いで作られた建物です、この建物のイメージは南米田園趣味です。中はとても広かったです。

最後に行ったのは神社でした。豆まきをやる為に昔の服を着て、お祓いをしてもらって豆まきをしました。こんなにしっかりとした豆まきをするのは初めてでとても面白かったです、また屋台などが出ていたのでみんなで今川焼きを食べました、チョコレート味などがあってとても美味しかったです。

今回のオリエンテーションでは、渋沢栄一さんの歴史について学びました。色々な事を聞きました、渋沢栄一さんは海外交流をしていてとても凄い人なんだなと思いました。私もとても小さいですが日本と海外を繋げられる架け橋を作りたいと思いました。そのため、これから日本の文化をたくさん学び、海外の人達に発信していきたいです。

渋沢栄一記念館での研修終了後の記念写真



第50期派遣生 オリエンテーション報告

第50期派遣候補生

スポンサークラブ

新嶋 里奈

(大妻嵐山中学校・高等学校)

東松山
むさし



今日は、「渋沢栄一記念館」、「中の家」、「尾高惇忠生家」、「誠之堂・清風亭」、「瀧宮神社」の5か所を見学させていただきました。

まず初めに「渋沢栄一記念館」を見学させていただきました。年表やその時代の写真や資料、人形などたくさんの展示がされてい

ました。渋沢栄一さんは、1840年に生まれ、そして92歳まで生き、92年間の間に500社以上もの企業を設立したり、パリ万博に行ったりと私が知らなかったことをたくさん知ることができました。日本の人形と海外の人形の違いがとても感じられました。私が一番驚いたのは、渋沢栄一さんが、やがて江戸時代第15代征夷大将軍になる徳川慶喜、一橋慶喜に仕えていたということです。記念館の方が話してくださったことはとても面白く、興味深かったのもう一度見学に行きたいと思います。

次に、「中の家」を見学させていただきました。中の家は、直接に住宅等として使われてきたもので実際に見ることができ、よかったです。主屋や副屋だけではなく、土蔵を2つも見ることができました。2つの蔵の中に入れていたものは、それぞれ違ったそうです。渋沢さんのいとこの話まで詳しく知るこ

とことができました。そして、NHKの大河ドラマの舞台になるようなのでとても楽しみです。

次に、「尾高惇忠生家」を見学させていただきました。ここでは、主に家系についてお話をしてくださいました。私が一番興味深かったお話は、「密議の絵」についてのお話です。ちよさんが、渋沢さんと結婚されていたのを初めて知ることができました。雛人形が飾ってあり、とてもきれいでした。

次に、「誠之堂・清風亭」を見学させていただきました。誠之堂の中に実際に入り見学させていただきました。レンガで作られていて、このレンガは深谷で作られたものだそうでとてもきれいな外観でした。内装もとてもきれいで、特にステンドグラスがきれいでした。ステンドグラスには、実際に渋沢さんも描かれていました。外装はイギリスの建物を、内装は中国や韓国などをイメージして作られたそうです。実際に瓦の見本を持ってみましたが、想像より軽く、びっくりしました。清風亭も実際に中に入り見学させていただきました。シャンデリアが使用されていたり、イスや机など全体的に西洋風な内装でした。こちらの建物も実際にレンガが使用されていました。2つともとてもきれいで歴史のある建物でした。

最後に、瀧宮神社に行き、豆まきをさせていただきました。普段できない経験ばかりさせていただきました、とてもうれしかったです。屋台も出ていて、たくさんの方々がいらっしゃっていて、とてもにぎやかで楽しかったです。

このように一日に素敵な場所をたくさん見学させていただけてとてもいい経験になりました。そしてとても楽しく面白かったです。また、楽しいや面白いで終わりにせず、学べたことや貴重な経験をできたことをフランスに行ったときに周りの方々にたくさん伝えてきたいと思います。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

深谷市瀧宮神社で節分祭に参加



表彰



表彰記号の凡例は9月号の裏表紙をご覧ください。

MPHF



入間

忽滑谷 明

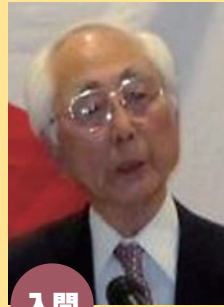
MPHF



入間

齋藤 栄作

MPHF



入間

齋藤 金作

MPHF



入間

岩崎 茂

PHF



入間

大塚 拓

MPHF



朝霞

相澤 良平

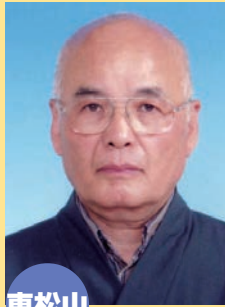
MPHF



東松山

荒尾 清

PHF



東松山

伊藤 禎章

MPHF



東松山

中川 正明

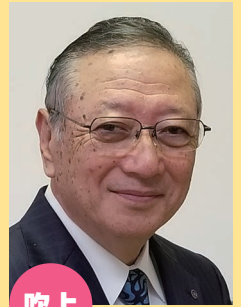
MPHF



東松山

中里 協弘

MPHF



吹上

馬橋 亟男

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター 2020年5月号
NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3
□ロータリーコーディネーター
□ロータリー公共イメージコーディネーター

11

第2地域 □ロータリーコーディネーター補佐 **松坂 順一**(東京葛飾東RC)

「緊急事態宣言」のもとで

COVID-19感染者の急激な増加により、4月7日に7都府県に「緊急事態宣言」が出されました。この緊急事態宣言の発動が少し遅いかも知れませんが、国民一丸となって取り組まないと終息が見えてきません。

中国から始まりヨーロッパに続いてアメリカ更には南米やアフリカと地球全域へと感染拡大です。このような状況下で、日本各地のロータリークラブ・ロータリアンは2月ないし3月から活動を自粛しており、3月・4月の例会や地区の行事も延期・中止が続いております。恐らく5月も活動再開が難しく、ハワイでの国際大会が行われなくなった事からも6月の活動も厳しい状況です。

国民の生活が一変した未曾有のパンデ

ミック真只中で、各自の生活を守るための行動が最も大切であり、夫々の事業や家族を守る事に全力投球が続く状況下において、例会に参加してロータリー生活を楽しんでいた生活習慣がこの2月～3月から活動自粛により崩れ、ロータリーから心が離れ退会に向かう会員が出てくる可能性が大いに有ります。

各クラブの会員同士が連絡を取り合っつながりを保ちましょう、そして地域社会への奉仕する方法を探しましょう。

更にはスカイプ、Zoom、GoToMeetingなどのオンラインツールを活用して例会を開くことも可能です。各クラブでオンライン例会にもチャレンジしてつながりを保ち続けま

しょう。その際にはロータリーのウェブサイト、オンライン例会を開催するためのヒントやガイドランスをご覧になって下さい。

日常生活に追われ頭の中からロータリーが消えかかっている会員の為にも、日本中のクラブ会長さんを筆頭に多くのロータリアンが「ロータリー情報・・・心に留まる情報」を各会員に発信し続け、各会員に「自クラブとロータリー」を頭の中に留めさせて下さい。必ずこのCOVID-19によるパンデミックは終息し、楽しいロータリー活動が戻ってきます。

各自のロータリー活動を見直し近い将来の活動を思い描きながら、ロータリー情報を発信しつながりを保ち続けましょう！

会員数・出席率 (2020年4月)

クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数(人)										女性会員		
		当 月	通 算	年 初 (7/↓)	4 月 末 現 在	4月入会数		4月退会者		本年度入会数		本年度退会者			4 月 度 純 増 数	本 年 度 純 増 数
						0	0	0	0	0	0	0	0			
第1グループ(11RC)																
川越	0	0.00	76.10	94	95	0	0	7	6	0	1	2	2	2		
東松山	0	0.00	59.53	25	24	0	0	0	1	0	-1	1	1	1		
小川	2	85.71	80.71	9	8	0	0	0	1	0	-1	2	2	2		
坂戸	0	0.00	78.32	31	31	0	0	0	0	0	0	1	1	1		
越生毛呂	0	0.00	57.74	17	17	0	0	0	0	0	0	1	1	1		
川越小江戸	0	0.00	76.72	15	14	0	0	0	1	0	-1	0	0	0		
川越西	0	0.00	75.69	17	19	0	0	2	0	0	2	1	1	1		
鶴ヶ島	0	0.00	93.53	29	29	0	0	2	2	0	0	3	3	3		
川越中央	0	0.00	71.76	28	29	0	0	3	2	0	1	0	0	0		
坂戸さつき	0	0.00	71.35	20	20	0	0	1	1	0	0	4	4	4		
東松山むさし	0	0.00	85.95	43	44	0	0	1	0	0	1	6	6	6		
小計	2	85.71	75.84	328	330	0	0	16	14	0	2	21	21	21		
第2グループ(7RC)																
朝霞	0	0.00	97.99	28	26	0	1	0	2	-1	-2	0	0	0		
志木	0	0.00	94.62	47	46	0	0	1	2	0	-1	2	2	2		
富士見	1	100.00	81.48	45	42	0	0	0	3	0	-3	0	0	0		
新座	1	90.91	83.29	29	28	0	0	0	1	0	-1	2	2	2		
和光	1	100.00	85.83	6	5	0	0	0	1	0	-1	2	2	2		
朝霞キャロット	0	0.00	84.11	12	11	0	0	0	1	0	-1	0	0	0		
新座こぶし	1	75.00	86.68	8	8	0	0	0	0	0	0	2	2	2		
小計	4	91.48	87.61	175	166	0	1	1	10	-1	-9	8	8	8		
第3グループ(11RC)																
入間	0	0.00	74.33	42	39	0	0	0	3	0	-3	2	2	2		
所沢	0	0.00	73.57	58	58	0	0	2	2	0	0	4	4	4		
飯能	1	91.83	89.68	60	58	0	0	2	4	0	-2	0	0	0		
新所沢	0	0.00	85.95	20	23	0	0	3	0	0	3	2	2	2		
日高	0	0.00	64.43	19	19	0	0	0	0	0	0	3	3	3		
所沢西	0	0.00	86.95	30	31	0	0	1	0	0	1	3	3	3		
新狭山	0	0.00	73.14	15	16	0	0	2	1	0	1	0	0	0		
所沢東	0	0.00	87.44	44	45	0	0	2	1	0	1	2	2	2		
入間南	0	0.00	83.73	43	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
所沢中央	0	0.00	87.60	24	23	0	0	0	1	0	-1	2	2	2		
狭山中央	0	0.00	81.20	30	26	0	1	1	5	-1	-4	6	6	6		
小計	1	91.83	81.72	385	381	0	1	13	17	-1	-4	24	24	24		
第4グループ(11RC)																
深谷	0	0.00	68.12	57	59	0	0	2	0	0	2	11	11	11		
本庄	0	0.00	69.29	78	78	0	0	1	1	0	0	5	5	5		
秩父	0	0.00	77.42	50	50	0	0	3	3	0	0	1	1	1		
寄居	0	0.00	88.62	23	28	0	0	5	0	0	5	0	0	0		
児玉	0	0.00	100.00	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
岡部	2	100.00	94.76	14	14	0	0	1	1	0	0	1	1	1		
深谷東	0	0.00	65.62	67	68	0	0	3	2	0	1	0	0	0		
川本	0	0.00	82.78	8	7	0	0	0	1	0	-1	0	0	0		
皆野・長瀨	0	0.00	77.41	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
本庄南	0	0.00	78.24	15	16	0	0	2	1	0	1	2	2	2		
深谷ノース	2	100.00	84.79	32	30	0	0	0	2	0	-2	1	1	1		
小計	4	100.00	82.87	358	364	0	0	17	11	0	6	21	21	21		
第5グループ(10RC)																
熊谷	0	0.00	72.89	89	90	0	1	5	4	-1	1	3	3	3		
行田	0	0.00	50.04	64	63	0	0	1	2	0	-1	5	5	5		
羽生	0	0.00	69.01	48	48	0	0	0	0	0	0	4	4	4		
加須	0	0.00	79.91	26	25	0	0	0	1	0	-1	1	1	1		
熊谷西	0	0.00	74.33	9	10	1	0	3	2	1	1	0	0	0		
行田さくら	0	0.00	63.83	50	52	0	0	3	1	0	2	2	2	2		
熊谷東	0	0.00	68.68	28	27	0	0	0	1	0	-1	2	2	2		
吹上	0	0.00	83.64	7	8	0	0	2	1	0	1	2	2	2		
熊谷籠原	0	0.00	81.20	28	29	0	0	2	1	0	1	0	0	0		
熊谷南	0	0.00	50.80	22	23	0	0	2	1	0	1	3	3	3		
小計	0	0.00	62.25	371	375	1	1	18	14	0	4	22	22	22		
50RC	男性会員数	92.93	69.04	1524	1520	1	3	60	64	-2	-4					
	女性会員数			93	96	0	0	5	2	0	3					
	合計			1616	1616	1	3	65	66	-2	-1					

スケジュール (2020年6月)

6~10(土~水)	ロータリー国際大会	中止	
7(日)	R米山記念奨学委員会/学友総会	中止	
11(木)	青少年奉仕委員会/埼玉県知事公式訪問	中止	
14(日)	青少年奉仕委員会/閉講式(第10回オリエンテーション)	中止	
6月	ロータリー財団委員会/ 合格者アプリケーションガイダンス	予定	
	20(土)	第5回オリエンテーション・歓迎迎会 (2020~21年度派遣R財団奨学生) (2021~22年度派遣R財団奨学候補生)	予定
	20~26(土~金)	バーチャル国際大会	

新入会員



氏名 吉田 昌弘 出口 眞次
 勤務先 (株)きぬのいえ 住友生命保険相互会社
 役職 代表取締役 熊谷支社長
 入会日 2020年3月4日 2020年4月6日
 紹介者 安齋 治一郎 田代 充雄

訃報



稲山 十四助様
 ご逝去日
 2020年4月10日
 (享年74歳)
 ロータリー歴
 1963年9月17日入会
 (在籍56年)

ガバナー月信 第12号 2020年6月1日発行

今月の表紙:
 鈴木 秀憲 ガバナー (左) 取上
 藤倉 武 地区幹事 (右) 行田さくら

2019-2020年度ガバナー **鈴木 秀憲**

国際ロータリー第2570地区 地区事務所
 〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号
 ガーデンホテル紫雲閣内

TEL (0493) 21-2570 FAX (0493) 21-2571
 E-mail = d-office@mail.rid2570.gr.jp
 Website = https://www.rid2570.gr.jp
 月信原稿送信先 = info2019@rid2570.gr.jp